

資料編



資料編目次

1	統計からみる八千代市の健康実態	129
2	八千代市第2次健康まちづくりプラン中間評価のためのアンケート調査の実施	133
3	八千代市第2次健康まちづくりプラン中間評価報告書	137

その他の資料

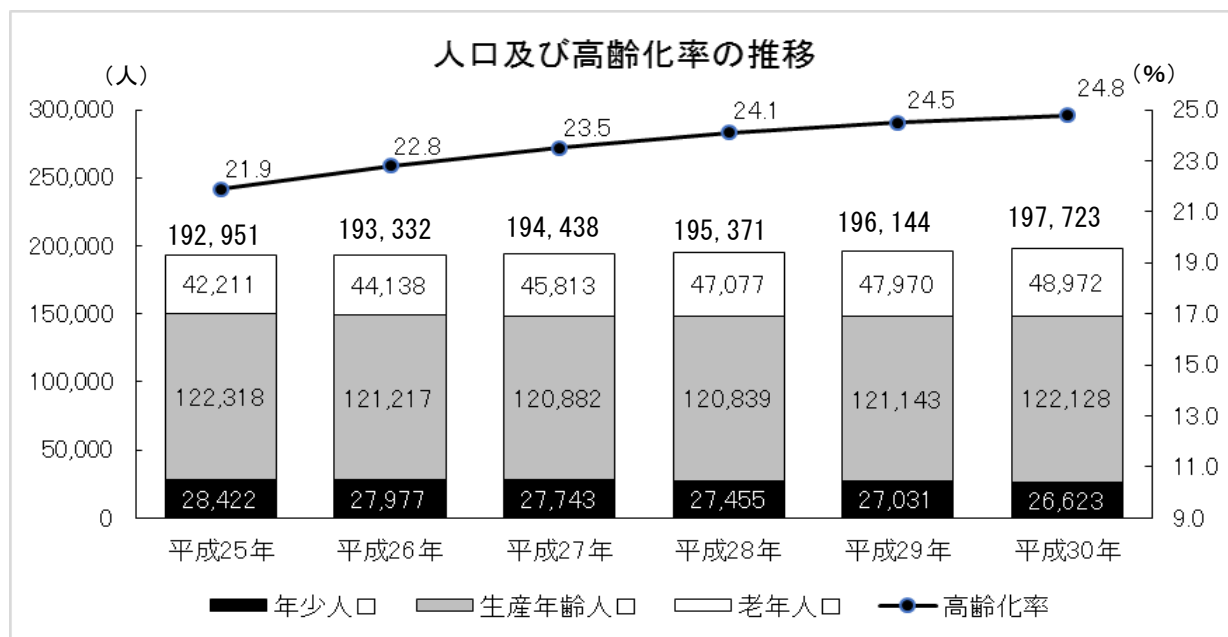
1	八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会設置要領	168
2	八千代市第2次健康まちづくりプラン庁内調整会議設置要領	171
3	八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例	173

1 統計からみる八千代市の健康実態

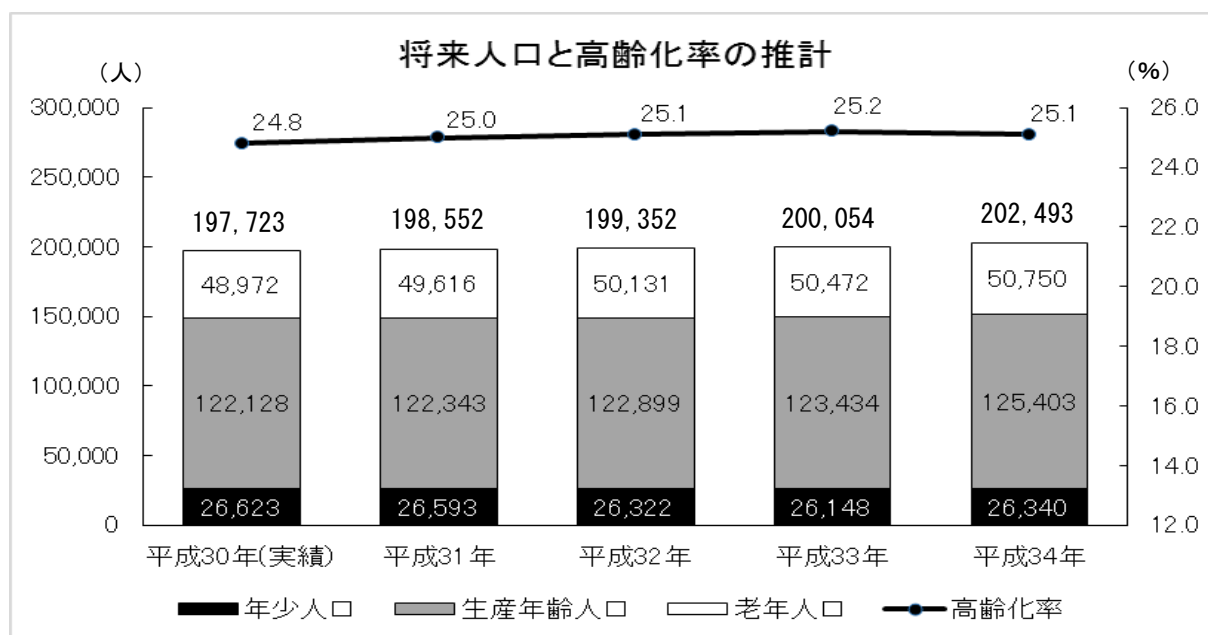
(1) 人口の推移

八千代市では、平成 34 年の将来人口を 202,493 人と想定しており、老年人口は増加が続き、平成 31 年には高齢化率が 25%に達すると見込んでいます。

また、年少人口は平成 25 年をピークに減少しており、生産年齢人口は平成 29 年から増加が続くものと見込んでいます。



出典：八千代市住民基本台帳（各年3月末現在）



出典：八千代市人口ビジョン 平成 28 年 3 月

(2) 世帯数の推移

核家族世帯の割合は減少しましたが、65 歳以上の世帯員がいる核家族世帯や高齢夫婦のみの世帯の割合は増加し、ひとり暮らし世帯の割合についても増加傾向です。
なお、各世帯の割合は一般世帯数を母数としています。

■世帯数の推移

区 分	平成 17 年		平成 22 年		平成 27 年	
	世帯数	(%)	世帯数	(%)	世帯数	(%)
一般世帯	68,502	100%	74,765	100%	78,280	100%
核家族世帯	47,516	69.4%	49,869	66.7%	50,961	65.1%
65 歳以上の世帯員が いる核家族世帯	12,235	17.9%	15,915	21.3%	18,847	24.1%
高齢夫婦のみの世帯	6,416	9.4%	8,458	11.3%	10,036	12.8%
ひとり暮らし世帯	15,846	23.1%	19,618	26.2%	22,428	28.7%
高齢者のひとり暮らし 世帯	3,917	5.7%	5,584	7.5%	7,848	10.0%

出典：国勢調査

(3) 健康寿命

健康寿命を 65 歳の平均自立期間とすると、八千代市では男性が 82.75 歳、女性が 85.53 歳となり、女性の方が健康寿命が長くなっています。

■65 歳の平均余命・平均自立期間・平均要介護期間（平成 26 年）

	男性			女性		
	平均余命	平均自立期間	平均要介護期間	平均余命	平均自立期間	平均要介護期間
八千代市	19.24	17.75	1.49	23.66	20.53	3.13
千葉県	19.05	17.47	1.58	23.61	20.27	3.35

出典：千葉県健康情報ナビ

（４）死因別死亡者数

平成 25 年から市の死因別死亡者数は、上位 4 死因の悪性新生物、心疾患、肺炎、脳血管疾患の順位は変わっていません。自殺は 6 位～8 位で推移しています。

■死因別死亡者数の推移

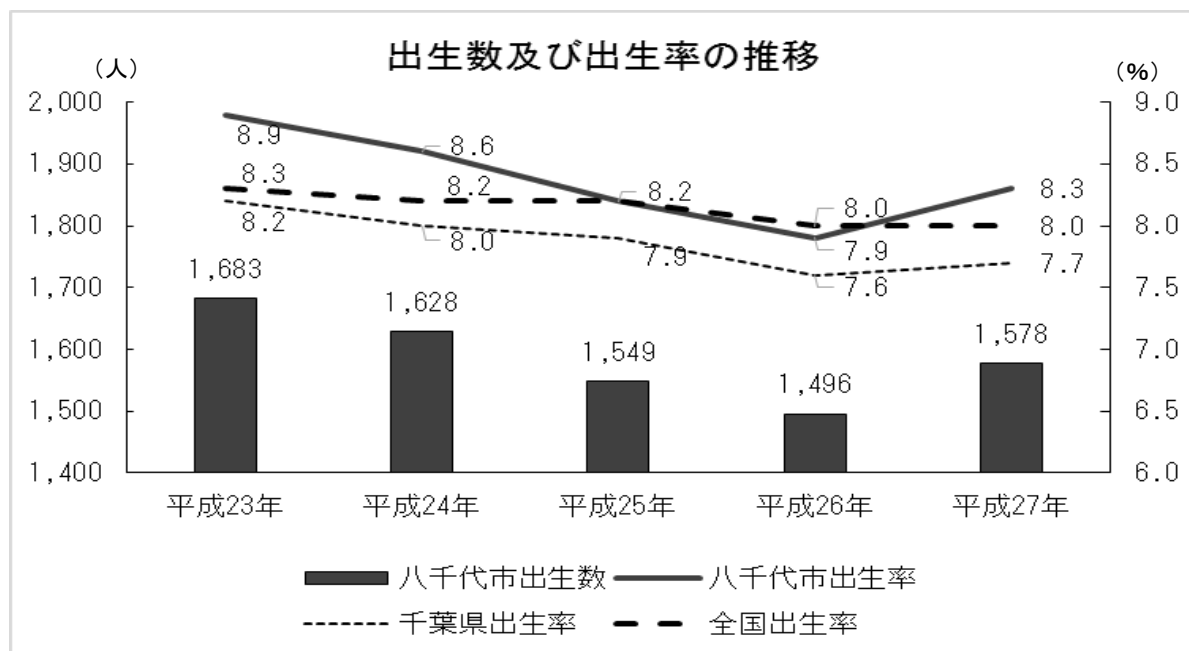
単位：人，率（人口 10 万対）

平成 25 年				平成 26 年				平成 27 年			
	死因	人	率		死因	人	率		死因	人	率
1	悪性新生物	427	224.8		悪性新生物	461	241.9		悪性新生物	482	254.2
2	心疾患	276	145.3		心疾患	278	145.9		心疾患	272	143.5
3	肺炎	156	82.1		肺炎	155	81.3		肺炎	170	89.7
4	脳血管疾患	92	48.4		脳血管疾患	102	53.5		脳血管疾患	101	53.3
5	老衰	71	37.4		老衰	77	40.4		老衰	79	41.7
6	不慮の事故	39	20.5		自殺	46	24.2		不慮の事故	35	18.5
7	自殺	35	18.4		不慮の事故	35	18.4		大動脈瘤及び解離	34	17.9
8	腎不全	25	13.2		大動脈瘤及び解離	22	11.5		自殺	31	16.4
9	大動脈瘤及び解離	22	11.6		腎不全	21	11.0		肝臓疾患	19	10.0
									腎不全	19	10.0
10	慢性閉塞性肺疾患	19	10.0		肝臓疾患	16	8.4		慢性閉塞性肺疾患	11	5.8

出典：習志野健康福祉センター「事業年報（各年度）」

（５）出生数及び出生率の推移

市の出生数及び出生率は平成 26 年まで減少し、平成 27 年には増加しています。



出典：習志野健康福祉センター「事業年報（各年度）」

(6) 母子保健統計

市の合計特殊出生率は全国の値と同等です。

■母子保健統計

平成27年	出生		死亡			死産		周産期 死亡率	婚姻	離婚	合計特殊 出生率
	総数	※1	総数	※1	(乳児) 再掲 ※2	自然 死産 ※2	人工 死産 ※2				
八千代市	1,578	8.3	1,523	8.0	0.6	10.6	3.7	3.2	4.5	1.80	1.45
千葉県	47,014	7.7	56,079	9.1	2.1	12.9	10.0	3.8	4.9	1.78	1.38
全国	1,005,677	8.0	1,290,444	10.3	1.9	10.6	11.4	3.7	5.1	1.81	1.45

※1：率（人口千対） ※2：率（出生千対）

出典：習志野健康福祉センター「事業年報（平成28年度）」

2 八千代市第2次健康まちづくりプラン中間評価のための アンケート調査の実施

(1) 調査の概要

平成28年10月に実施した「八千代市第2次健康まちづくりプラン中間評価のためのアンケート調査」の調査対象等は下記のとおりです。

■ 調査対象・調査方法・回収結果

調査の種類	調査対象	調査方法	対象者数	有効回収数	有効回収率
①乳幼児保護者調査	0歳から6歳の乳幼児のいる保護者	八千代市民の年齢構成に従って無作為抽出を行い、郵送にて配布、回収。	1,000人	533票	53.3%
②小学生保護者調査	市内5か所の小学校に通う4年生から6年生の児童のいる保護者	③小学生調査の対象となった児童が家庭に持ち帰り、保護者が記入後、児童経由で学校に提出、回収。	562人	520票	92.5%
③小学生調査	市内5か所の小学校に通う4年生から6年生の児童	学校配布、学校回収	562人	562票	100%
④中学生調査	市内5か所の中学校に通う1年生から3年生の生徒	学校配布、学校回収	570人	570票	100%
⑤成人調査	18歳以上65歳未満の市内在住者	八千代市民の年齢構成に従って無作為抽出を行い、郵送にて配布、回収	2,000人	716票	35.8%
⑥高齢者調査	65歳以上の市内在住者	八千代市民の年齢構成に従って無作為抽出を行い、郵送にて配布、回収	1,000人	606票	60.6%

(2) 調査結果の抜粋

1. 子育てに関する不安や心配が『ある』方の原因について（子どもの年齢別）

内容別では「子どものしつけや接し方に関すること」が68.0%と最も多く、年齢別では2歳代が多い。

%

乳問6-1. 不安や悩みを感じる原因 【複数回答】		回答者数	子どもの発 育や病気な どに関する こと	子どもの発 達（言葉や情 緒面）に関す ること	自分の健康 や身体に関 すること	身近に協 力者がい ないこと	話し相手 や相談相 手がいな いこと	周囲の人 との人間 関係に関 すること
全体		378	27.5	31.5	24.1	18.3	8.5	16.4
子どもの年齢	0歳	42	45.2	38.1	26.2	16.7	11.9	16.7
	1歳	58	37.9	36.2	27.6	22.4	17.2	20.7
	2歳	60	20.0	28.3	21.7	16.7	1.7	15.0
	3歳	53	30.2	30.2	24.5	18.9	9.4	15.1
	4歳	40	17.5	30.0	22.5	22.5	10.0	27.5
	5歳	49	26.5	38.8	32.7	14.3	6.1	20.4
	6歳以上	53	22.6	24.5	20.8	15.1	3.8	7.5
乳問6-1. 不安や悩みを感じる原因 【複数回答】		回答者数	仕事との両 立に関する こと	子どものし つけや接し 方に関する こと	子どもの教 育のこと	経済的な こと	その他	
全体		378	36.2	68.0	51.6	41.8	6.3	
子どもの年齢	0歳	42	40.5	64.3	47.6	47.6	4.8	
	1歳	58	31.0	62.1	46.6	34.5	10.3	
	2歳	60	41.7	66.7	46.7	46.7	6.7	
	3歳	53	35.8	69.8	56.6	35.8	5.7	
	4歳	40	42.5	70.0	62.5	42.5	10.0	
	5歳	49	28.6	83.7	53.1	44.9	6.1	
	6歳以上	53	32.1	66.0	45.3	39.6	1.9	

2. ゆとりのある子育てについて（父親の育児参加と地域の見守り状況）

父親が子育てをよくやっていると考える人ほど、ゆとりのある子育てをしていると感じる人の割合が多い。

また、地域に見守られながら子育てができていると感じている人ほど、ゆとりのある子育てをしていると感じる人の割合が多い。

%

乳問4. ゆとりのある子育てをしているか		回答者数	よく感じる	時々感じる	あまり 感じない	まったく 感じない	無回答
全体		533	15.0	41.8	33.6	8.8	0.8
乳問12. 父 親の育児参 加	よくやっている	235	23.0	43.4	28.1	5.1	0.4
	時々やっている	187	10.7	46.0	33.2	9.1	1.1
	何ともいえない	65	6.2	32.3	47.7	13.8	-
	ほとんどしていない	26	3.8	34.6	38.5	19.2	3.8
乳問14. 地 域に見守られ ながら子育て ができている と思うか	非常にそう思う	32	25.0	53.1	21.9	-	-
	まあそう思う	246	17.1	47.6	29.3	5.7	0.4
	あまりそう思わない	190	12.6	36.3	41.6	7.9	1.6
	そう思わない	64	9.4	31.3	31.3	28.1	-

3. 子どもが外で遊ぶ頻度について（学年別）

週3回以上外遊びをしている小学生の割合は、学年が上がるにつれて減少している。

								%
小問 13. 子どもが外で遊ぶ頻度		回答者数	ほぼ毎日 (週5日以上)	週3～4日	週1～2日	2～3週に1回	ほとんど外では遊ばない	無回答
全体		520	25.8	29.2	25.0	7.9	11.3	0.8
子どもの学年	小学校4年生	176	30.7	33.5	22.7	4.0	8.0	1.1
	小学校5年生	177	27.1	24.9	27.7	11.3	8.5	0.6
	小学校6年生	167	19.2	29.3	24.6	8.4	18.0	0.6

4. 子どもが外で遊ぶ頻度について（安心して遊べる環境かどうか）

住まいの周辺は安心して子どもが遊べる環境だと思うと回答した人ほど、子どもが外で遊ぶ頻度が高い。

								%
小問 17. 子どもが外で遊ぶ頻度		回答者数	ほぼ毎日 (週5日以上)	週3～4日	週1～2日	2～3週に1回	ほとんど外では遊ばない	無回答
全体		533	41.8	30.4	19.1	3.2	5.3	0.2
乳問 19. 住まいの 周辺は安心して子どもが遊べる環境か	非常にそう思う	30	56.7	30.0	13.3	-	-	-
	まあそう思う	248	46.4	31.5	16.5	3.2	2.4	-
	あまりそう思わない	193	35.8	30.6	21.8	4.1	7.3	0.5
	そう思わない	59	33.9	27.1	23.7	1.7	13.6	-

5. 子どもの健やかな発育・発達について（子どもが外で遊ぶ頻度）

外で遊ぶ頻度が多いほど、子どもが健やかに発育・発達していると感じている人の割合が多い。

								%
小問 16. 子どもは健やかに発育・発達しているか		回答者数	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない	無回答
全体		533	49.2	43.7	2.6	1.3	2.8	0.4
乳問 17. 子どもが 外で遊ぶ頻度	ほぼ毎日（週5日以上）	223	54.7	41.3	0.9	0.9	2.2	-
	週3～4日	162	48.8	46.3	1.2	1.9	1.2	0.6
	週1～2日	102	42.2	45.1	4.9	2.0	4.9	1.0
	2～3週に1回	17	52.9	41.2	-	-	5.9	-
	ほとんど外では遊ばない	28	28.6	46.4	17.9	-	7.1	-

6. 生きがい（喜びや楽しみ）について（地域活動などへの参加状況）

いずれかの地域活動に参加していると回答した人ほど、生きがいを感じている人の割合が多い。

%

高問 19. 生きがい（喜びや楽しみ）を感じるか			回答者数	十分感じている	多少感じている	感じていない あまり	感じていない まったく	わからない	無回答
全体			606	39.6	39.6	13.2	3.0	2.3	2.3
高問 20. 地域活動や イベント等 への参加状 況	参加している	自治会、町内会	127	57.5	37.8	3.9	-	-	0.8
		長寿会（老人クラブ）	30	40.0	50.0	3.3	3.3	-	3.3
		地域で行われているサロンなど	14	50.0	42.9	-	-	-	7.1
		趣味などのサークル	167	56.3	40.1	3.0	-	-	0.6
		健康、スポーツ	97	53.6	36.1	8.2	-	1.0	1.0
		ボランティア団体	36	66.7	27.8	5.6	-	-	-
		その他	34	44.1	38.2	11.8	2.9	2.9	-
	参加していない		267	28.8	38.6	22.1	5.6	4.1	0.7

7. 暮らしの充実感について（近所付き合いの程度）

近所付き合いが浅い人ほど、毎日を健やかに充実して暮らしていると思う人の割合が少ない。

%

高問 28. 暮らしの充実感			回答者数	そう思う	まあそう思う	あまり そう思わない	そう思わない	無回答
全体			606	35.5	49.0	8.4	4.0	3.1
高問 21. 近 所付き合い の程度	一緒にお茶を飲むなど、親しい近所付き合いをしている		142	47.2	43.0	2.8	0.7	6.3
	立ち話をする程度の付き合い		245	33.9	52.7	8.2	3.3	2.0
	あいさつをする程度の付き合い		171	28.7	53.2	12.9	4.1	1.2
	近所付き合いはしていない		30	30.0	30.0	16.7	23.3	-

3 八千代市第2次健康まちづくりプラン中間評価報告書

第1章 中間評価について

1 目的

「八千代市第2次健康まちづくりプラン（以下、「第2次プラン」という。）」は、市民の生涯にわたる健康づくりのための基本計画として平成25～34年度の10年間の計画期間として策定しました。

計画の中間年にあたる平成29（2017）年度を中間評価年度として定めております。5年間の取り組みを経て、策定時に設定した数値目標の達成状況や関連する取り組み状況を評価するとともに、健康づくりを取り巻く社会的変化、制度の変更などを考慮し、今後の方向性を明らかにすることを目的としています。

2 評価方法

1）数値目標に対する達成度を把握する

第2次プラン策定時に設定した全197指標の目標値は、基準値*を基に決めました。各指標の直近値*は中間評価アンケートや各種統計データや事業実績データで把握し、目標値に対する達成度を明らかにしました。（判定基準は表1参照）

各指標の達成度は資料編160～167頁の指標数値の比較一覧にまとめました。

なお、基準値と直近値の変化を明らかにするため分析可能な指標については、統計ソフト（EZRversion1.30）を用いて、カイ2乗検定にて基準値と直近値の比率の差を分析しました。

【表1：判定区分と判定基準】

判定区分	判 定 基 準
A（達成）	直近値が目標値を既に達成している
B（改善傾向）	直近値が目標値に達していないが、基準値と比較すると改善している （検定を行っていない場合：1ポイント以上の増減で改善している）
C（横ばい）	直近値が基準値と比べ、変わらない （検定を行っていない場合：1ポイント未満の増減で変わらない）
D（後退）	直近値が基準値に比べ、悪化している （検定を行っていない場合：1ポイント以上の増減で悪化している）
E（判定不能）	調査内容の違いなどにより判定ができない

*基準値： 策定時の値。（平成23年度の第2次プラン策定のためのアンケート調査および各種統計データ、事業実績データ、他課調査より）

*直近値： 中間評価の値。（平成28年度の第2次プラン中間評価のためのアンケート調査および各種統計データ、事業実績データ、他課調査より）

2) 目標に向けた取り組みの進捗状況を把握する

平成 29 年度第 2 次プランに基づく事業の進捗状況調査において、行政・関係機関の取り組みについて平成 25～28 年度（4 年間）の進捗状況を 4 段階*で把握しました。把握対象事業は全 235 事業のうち 223 事業です。

*4 段階： 1.計画通り実施 2.計画通りではないが、概ね実施
 3.取り組みに遅れがあった 4.ほとんど取り組めなかった

3) 第 2 次プラン推進・評価委員会による見直し審議

平成 29 年度は委員会（1 回）・部会（各 3 回）を開催し、世代ごとに取り組みを振り返り、現状や課題、今後の方向性について検討しました。

3 報告書の見方

集計した数値割合（％）は、小数第 1 位を四捨五入し表示しています。そのため、選択肢の数値割合（％）を全て合計しても 100％にならないことがあります。

各指標の達成度をまとめた指標数値の比較一覧（資料編 160～167 頁）における数値割合（％）は、小数点第 2 位を四捨五入し表示しています。

第2章 全体の評価および今後の取り組み

1 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
全世代	223	191	86%	31	14%	1	0%(0.4)	0	0%
すこやか親子	77	71	92%	6	8%	0	0%	0	0%
はつらつ成年	76	56	74%	20	26%	0	0%	0	0%
いきいき高齢者	70	64	91%	5	7%	1	1%	0	0%

2 数値目標について

1) 全世代を通じた大目標について（3つの基本目標に対する指標）

基準値 (23年度)	直近値 (28年度)	目標値 (34年度)	判定
---------------	---------------	---------------	----

基本目標1 子どもから高齢者までみんないきいき暮らすまち・やちよ

毎日を健やかに充実して暮らしていると思う市民の割合*	85%	84.3%	増加	C
----------------------------	-----	-------	----	---

基本目標2 みんなのいきいきを応援しあうまち・やちよ

地域の中に健康を支え合う関係があると思う市民の割合*	55.4%	50.9%	65%	D
----------------------------	-------	-------	-----	---

基本目標3 健康な暮らしの環境づくりをすすめるまち・やちよ

健康に暮らせる環境づくりをすすめているまちと思う市民の割合*	42.4%	39.8%	55%	C
--------------------------------	-------	-------	-----	---

* 第2次プラン中間評価のためのアンケート調査における乳幼児保護者・小学生保護者・成人・高齢者の各調査結果の合算。

2) 目標に対する達成度

※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
全世代	197	32	16%	34	17%	76	39%	47	24%	8	4%
全世代を通じた大目標	3	0	0%	0	0%	2	67%	1	33%	0	0%
すこやか親子	122	22	18%	22	18%	44	36%	31	25%	3	2%
はつらつ成年	37	5	14%	6	16%	18	49%	7	19%	1	3%
いきいき高齢者	35	5	14%	6	17%	12	34%	8	23%	4	11%

3 全世代の総括評価

行政・関係機関の取り組みについては8割以上の事業が計画通り実施し、計画通りではないが概ね実施した事業を含めると、ほとんどが目標に向けた取り組みを実施しました。

また、数値目標については目標に対して達成・改善傾向となった指標は3割を超え、横ばいが4割となり、第2次プラン前半期において一定の成果があったと考えます。

今後も健康的な生活習慣のために世代ごと健康づくりをすすめると共に、地域全体で相互に支え合いながら、健康を守る環境づくりに努めてまいります。

第3章 世代ごとの評価および今後の取り組み

3-1：すこやか親子世代

重点取り組み：親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます

【取り組みの方向性】

乳幼児期からのより良い家族関係を築くために、親の子どもへの接し方のスキルを高める新たな事業を検討します。また、地域で孤立することなく子育てするために、父親への支援を行うこと、地域住民・関係機関と一緒に地域の特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」を行うことを、地域ごとに実施している地域会議（地域情報交換会等）を中心に推進します。

1 世代全体の評価および今後について

【めざす姿1】 親がゆとりを持って、いきいきと子育てをしている

【めざす姿2】 親も子も地域の中で育ちあう

【めざす姿3】 子どもが心身共に健やかに成長している

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
すこやか親子	77	71	92%	6	8%	0	0%	0	0%
めざす姿1	21	20	95%	1	5%	0	0%	0	0%
めざす姿2	18	16	89%	2	11%	0	0%	0	0%
めざす姿3	38	35	92%	3	8%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度 ※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
すこやか親子	122	22	18%	22	18%	44	36%	31	25%	3	2%
めざす姿1	20	3	15%	3	15%	9	45%	5	25%	0	0%
めざす姿2	21	0	0%	0	0%	12	57%	9	43%	0	0%
めざす姿3	81	19	23%	19	23%	23	28%	17	21%	3	4%

3) すこやか親子世代の総括評価

すこやか親子世代では、「親子のこころの健康を地域で支える健康づくり」を重点取り組みとして、3つのめざす姿を推進してきました。行政・関係機関の取り組みについては全事業の9割で計画通り実施することができ、数値目標は達成・改善傾向・横ばいが7割を占めています。

めざす姿1の親がゆとりを持って、いきいきと子育てをしていることをめざす取り組みの結果は、子どもと過ごす時間について毎日が楽しいとよく感じる親の割合は後退し、時には子どもを預け、趣味など自分の時間を持つことができていると思う乳幼児の親の割合や子育てをしている中で不安を感じている乳幼児の親の割合が横ばいでした。夫婦共に就労している世帯の割合が47.6%（平成27年度国勢調査）と半数近くが夫婦共働きである社会背景もあり、親がゆとりを感じるのが難しい状況が懸念されることから、こころの健康を保ち適切な養育となるよう、妊娠期からの切れ目のない支援により、子育ての悩みや不安を軽減していくことが必要であると考え、平成28年度から専門職が面接により母子健康手帳を交付する体制をつくりました。

めざす姿2の親も子ども地域の中で育ちあうことをめざす取り組みの結果は、父親が子育てをよくやっているや地域に見守られながら子育てをしていると感じている人ほど、子育てにゆとりがあると感じる割合が高い傾向があると出ています。父親の育児参加や地域の見守りが、育児の孤立化を防ぎ、親の心の健康や適切な育児のためには重要な要素であると考えられることから、地域住民と「子育てしやすいまちづくり」についての情報共有や話し合いを持つ「地域情報交換会」の開催や父親に向けた情報発信の工夫についての取り組みを行いました。

めざす姿3の子どもが心身共に健やかに成長していることをめざす取り組みの結果は、安心して子どもが遊べる環境だと思える親ほど、子どもの外遊びの頻度が高く、子どもが健やかに成長していると感じる傾向にあり、自己肯定感が高い子の割合や大切にしてくれる大人がいると感じている子の割合はほぼ横ばいです。子どもが心身共に健やかに成長するには、地域で子どもの安心、安全について見守られ、親のこころの健康が保たれ適切な養育ができることが重要と考えられます。

今後も親と子が健やかに暮らしていくために、妊娠期からの切れ目のない支援や地域での子育てに関する理解を高める取り組み、父親への子育てに関する情報発信への取り組みを継続して行っていきます。

2 めざす姿ごとの評価および今後について

めざす姿

1

親がゆとりを持って、いきいきと子育てをしている

親が子どもと過ごす時を楽しみ、時には自分らしい時間を過ごすことで、ゆとりを持っていきいきとした子育てをすることをめざします。

【行動目標①】 親は子どもと過ごす時を楽しみます

【行動目標②】 親は自分らしい時間を過ごします

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿 1	21	20	95%	1	5%	0	0%	0	0%
行動目標①	13	13	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	8	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度 ※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿 1	20	3	15%	3	15%	9	45%	5	25%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	10	3	30%	1	10%	3	30%	3	30%	0	0%
行動目標②	9	0	0%	2	22%	5	56%	2	22%	0	0%

3) まとめ

めざす姿 1 における行政・関係機関の取り組みについては、計画通り実施または概ね実施できました。

行動目標①の指標では、子どもと過ごす時間について毎日が楽しいとよく感じる親の割合は後退し、子育ての悩みや不安を感じている親の割合は横ばいでした。年齢別でみると 2 歳代で多く、内容別ではしつけや接し方に関することが 6 割以上でした。平成 28 年度より専門職が母子健康手帳の交付を全数面接で実施することとし、妊娠期から関わりを持つことにより、成長過程で生じる不安を解消できるよう、支援を行っています。また、1 歳 6 か月児健康診査の満足度は目標達成できており、今後も医療機関と連携し、子どもの発達相談や、母の子育ての不安に対する相談など、養育支援について取り組んでいきます。

行動目標②の指標では、成人や高齢者は、母親が自分の時間を持つことが良いと思う人の割合が改善傾向となっており、地域で見守る世代の意識変化が確認できました。

その他、自分の時間を持つことができている人の割合や子育てをよくやってくれる父親の割合は横ばいでしたが、父親が育児をよくやってくれる人や地域に見守られながら子育てをしていると感じている人ほど、子育てにゆとりがあると感じる割合が高い傾向にありました。ゆとりを持っていきいきと子育てをするためには、父親の育児参加や地域の見守りが重要と確認できました。

上位指標である「ゆとりを持って子育てをしていると感じている乳幼児の親の割合」は横ばいでした。今後も親の育児不安を少しでも解消できるように、妊娠期からの専門職による切れ目のない支援を行い、父親の育児参加や地域の見守る体制づくりへの取り組みを引き続き実施していきます。

めざす姿

2

親も子も地域の中で育ちあう

地域の人とのつながりの中で、見守られたり、自分の役割を持ったりすることにより、親も子も安心して共に成長していくことをめざします。

【行動目標①】 地域の中で安心して子育てします

【行動目標②】 親は子育ての経験を地域の中で発揮します

【行動目標③】 父親も子育てを通して地域で交流を持ち家族や仲間と子育てを楽しみます

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿2	18	16	89%	2	11%	0	0%	0	0%
行動目標①	6	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	3	3	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標③	9	7	78%	2	22%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度 ※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿2	21	0	0%	0	0%	12	57%	9	43%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	10	0	0%	0	0%	7	70%	3	30%	0	0%
行動目標②	6	0	0%	0	0%	2	33%	4	67%	0	0%
行動目標③	4	0	0%	0	0%	2	50%	2	50%	0	0%

3) まとめ

めざす姿2における行政・関係機関の取り組みについては、計画通り実施または概ね実施できました。

行動目標①の指標では、地域の人に見守られて安心して子育てができていると思う親の割合や、子育て中の人に声かけや相談にのったことがある人の割合は横ばいでしたが、子育てについて相談したり頼れる近所の人がいる乳幼児の親の割合は後退しています。背景としては、転出入や出産前まで就労していることなどが考えられ、地域の人との交流が図れる取り組みや情報発信は引き続き必要と考えます。

行動目標③の指標では、父親向け事業への参加数は後退しましたが、父親が子育てを楽しんでいると思う親の割合は横ばいでした。父親が母親と一緒に子育てを担い、夫婦で子育てしている意識を持つことが、地域の中で育ち合うきっかけとなると考え、実際に育児する父親の声をまとめ、父親に向けた情報発信に取り組む予定です。

上位指標である「子育てをしていることで、自分は成長していると感じる乳幼児の親の割合」は横ばいで推移しています。今後もこれまでの取り組みを継続しながら、地域の人とのつながりが得られるように、より身近な地域の情報を発信する取り組みを考えていきます。

予防接種や健診などを通して子どもの安全を保障するとともに、遊びや食育、思春期の生と性についての取り組みを充実させることで、子どもの心身の健やかな成長をめざします。

【行動目標①】 遊びを通じて子どものしなやかな身体、豊かなところを育てます

【行動目標②】 食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ、しなやかな身体、豊かなところを育てます

【行動目標③】 思春期の子は自分や他者を大切に、生と性の課題について適切に対処します

【行動目標④】 親は子どもの安全を保障し、健やかな成長発達を促します

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿3	38	35	92%	3	8%	0	0%	0	0%
行動目標①	8	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	12	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
行動目標③	6	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標④	12	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度 ※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿3	81	19	23%	19	23%	23	28%	17	21%	3	4%
上位指標	4	0	0%	0	0%	4	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	9	0	0%	3	33%	2	22%	4	44%	0	0%
行動目標②	23	7	30%	2	9%	9	39%	5	22%	0	0%
行動目標③	22	3	14%	6	27%	6	27%	7	32%	0	0%
行動目標④	23	9	39%	8	35%	2	9%	1	4%	3	13%

3) まとめ

めざす姿3における行政・関係機関の取り組みについては、計画通り実施または概ね実施できました。

行動目標①の指標では、週3日以上外遊びをしている小学生の割合は後退しており、学年が上がるにつれて減少する傾向がみられました。習い事や学習塾の利用、ソーシャルネットワークの利用拡大で、体を動かす機会が少なくなっている社会背景の中、パソコンやゲームなどの利用時間に制限を設けている親の割合は増加しており、子どもの成長への影響が意識されるようになった結果と考えられます。

安心して子どもが遊べる環境だと思える親ほど、子どもの外遊びの頻度が高く、外遊びが多いほど子どもが健やかに成長していると感じる傾向にあり、地域で見守られながら活発に遊べることの必要性を確認しました。

行動目標②の指標では、全小学校への農業生産者の訪問体制の構築をやちよ食育ネットワーク協議会で取り組み、平成23年度は5校のところ、平成28年度では22校すべてに実施することができました。

行動目標③の指標では、避妊法や性感染症の全問正解の割合、中学生のやせの割合は後退しましたが、喫煙や飲酒経験については改善傾向でした。自己肯定感が高い子どもの割合は小学生で後退、中学生で改善傾向が見られました。

今後も八千代市思春期保健ネットワーク会議による取り組みなど、医療・教育などの関係機関と連携を図り、子どもや保護者へ知識や情報の伝達を行っていきます。

行動目標④の指標では、ほとんどが目標達成または、改善傾向でした。麻しん風しん混合予防接種第1期接種率は目標達成し、定期歯科健康診査の受診や事故防止の取り組みは改善傾向でした。麻しん風しん混合予防接種第2期接種率は後退したため、接種率向上に向けての検討が必要と考えます。

これらの上位指標である「毎日を元気に楽しく暮らしていると思う子の割合」と「子どもが心身共に健やかに発育・発達していると感じる親の割合」は横ばいでした。今後も子どもたちの心と体の健やかな成長につながるように、これまでの取り組みを継続しながら、予防接種の推進や安全対策などにおいて普及啓発に努めます。

3-2：はつらつ成年世代

重点取り組み：健康づくりを地域みんなで取り組みます

【取り組みの方向性】

食を通じた健康づくりの取り組みは、多くの人が外食・中食*を利用している現状をふまえ、野菜がたっぷり食べられるような健康に配慮したメニューの提供の推進、飲食店等での食を通じた健康情報の発信を行います。たばこ対策の取り組みは、職場や飲食店、公共施設などにおける禁煙・分煙に向けた環境づくりを推進します。

情報発信については、発信手段だけではなく、内容も工夫し関心を持ってもらえるように検討します。この世代は、学校や職場に属する人も多いため、大学や職域*への働きかけも検討し、より多くの人に働きかけるように努めます。

*中食： 家庭外で調理された食品を購入して、家庭の食卓で食べること。

*職域： 職業や職務の範囲、職場。

1 世代全体の評価および今後について

【めざす姿1】 地域とのつながりを保ちながら、心身ともに支障がなく、自分らしい生活ができる

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
はつらつ成年	76	56	74%	20	26%	0	0%	0	0%
めざす姿1									

2) 数値目標について：目標に対する達成度 ※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
はつらつ成年	37	5	14%	6	16%	18	49%	7	19%	1	3%
めざす姿1											

3) はつらつ成年世代の総括評価

はつらつ成年世代における行政・関係機関の取り組みについては、ほぼ計画通り実施できました。数値目標については、一部後退した指標もありますが8割は達成・改善傾向・横ばいとなりました。以上のことから、5年間で一定の成果があったと考えます。

重点取り組みである外食時における野菜たっぷりメニューの拡大・周知の取り組みでは、市主催の「野菜たっぷりメニューコンテスト」を3回開催しました。その結果、認定メニューは28店舗40メニューと広がっただけでなく、飲食店主催のイベント「八千代カレー」への参画につながりました。平成29年度から「野菜たっぷり認定メニュー」推進事業を創設し、これまでの取り組みで構築した飲食店との関係を保ちながら、引き続き野菜をたっぷり食べることに関心を持ち、実践につながる機会の提供に努めています。

たばこ対策の取り組みについては、新たな喫煙者をつくらないための喫煙防止教育のほか、禁煙したい人に向けて禁煙支援医療機関などの情報提供を行いました。禁煙・分煙に向けた環境づくり（受動喫煙防止対策）の推進については、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて法改正を含む動きが活発になっていることから、国・県・近隣市の動向を注視し、八千代市の受動喫煙防止対策のあり方について検討していきます。

情報発信については、平成27年度より配信を開始した「やちよ健康情報メール」にて広報やホームページに頼らないタイムリーな情報発信に努めてきました。配信から2年が経過し、登録者は平成30年1月末現在3,497人です。今後も、登録者の拡大や配信内容の充実に努めるほか、日々進化する情報発信のツールをうまく活用しながら健康を意識しなくても健康づくりを享受できる環境づくりが醸成されるよう各々の取り組みをすすめます。

2 めざす姿ごとの評価および今後について

めざす姿

1

地域とのつながりを保ちながら、心身ともに支障がなく、
自分らしい生活ができる

健康に配慮した生活習慣を身につけ、心身の健康を保ち、地域との
つながりを大切にして自分らしく生活することをめざします。

- 【行動目標①】 健康に配慮し、楽しく食べます
- 【行動目標②】 こころの健康を保ちます
- 【行動目標③】 気軽に体を動かす習慣を身につけます
- 【行動目標④】 生活の中からたばこの煙を減らします
- 【行動目標⑤】 歯と口腔の状態に不安をかかえることなく、おいしく食べます
- 【行動目標⑥】 休肝日をつくり、お酒と上手につきあいます
- 【行動目標⑦】 生活習慣病の早期発見・早期治療、生活の見直しに努めます
- 【行動目標⑧】 地域の情報を得て、地域への関心を持ちます

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
はつらつ成年 (めざす姿1)	76	56	74%	20	26%	0	0%	0	0%
行動目標① 【食生活】	9	5	56%	4	44%	0	0%	0	0%
行動目標② 【こころ】	11	6	55%	5	45%	0	0%	0	0%
行動目標③ 【運動】	20	18	90%	2	10%	0	0%	0	0%
行動目標④ 【たばこ】	8	3	38%	5	63%	0	0%	0	0%
行動目標⑤ 【歯と口腔】	7	6	86%	1	14%	0	0%	0	0%
行動目標⑥ 【お酒】	7	5	71%	2	29%	0	0%	0	0%
行動目標⑦ 【健(検)診】	9	8	89%	1	11%	0	0%	0	0%
行動目標⑧ 【地域】	5	5	100%	0	0%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度 ※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
はつらつ成年 (めざす姿1)	37	5	14%	6	16%	18	49%	7	19%	1	3%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標① 【食生活】	9	2	22%	1	11%	5	56%	0	0%	1	11%
行動目標② 【こころ】	2	0	0%	0	0%	1	50%	1	50%	0	0%
行動目標③ 【運動】	6	0	0%	1	17%	4	67%	1	17%	0	0%
行動目標④ 【たばこ】	7	0	0%	2	29%	4	57%	1	14%	0	0%
行動目標⑤ 【歯と口腔】	4	2	50%	0	0%	1	25%	1	25%	0	0%
行動目標⑥ 【お酒】	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標⑦ 【健(検)診】	4	1	25%	1	25%	1	25%	1	25%	0	0%
行動目標⑧ 【地域】	3	0	0%	1	33%	0	0%	2	67%	0	0%

3) まとめ

はつらつ成年世代は、
めざす姿が1つのため、149頁の「3) はつらつ成年世代の総括評価」を参照。

3-3：いきいき高齢者世代

重点取り組み：運動をきっかけとした住民主体の健康づくりに取り組みます

【取り組みの方向性】

身近な地域で住民同士が楽しみながら運動を続けられるように、やちよ元気体操の普及と地域に根付いた住民主体の健康づくりを推進する人材（やちよ元気体操応援隊）の養成とその自主活動を支援します。

また、運動をきっかけに健康づくりへの関心が高まるように、運動の効果や、やちよ元気体操等の気軽にできる運動の情報提供を行うとともに、低栄養や認知症予防等に関わる食生活や歯と口腔の健康づくりについても普及啓発に努めます。

運動をきっかけに、住民同士のつながりや地域活動への参加が促進されるように、本部会のめざす姿「1 生きがいづくり」「2 身近な地域でのふれあい」「3 心身機能の維持」を三位一体で推進します。

1 世代全体の評価および今後について

【めざす姿1】 生きがいを持って、いきいき過ごしている

【めざす姿2】 身近な場所でのふれあいを楽しんでいる

【めざす姿3】 心身機能を保ち、認知症、ロコモティブ症候群*、低栄養など老年症候群を予防する

* ロコモティブ症候群： 骨や関節、筋肉などの運動器の障がいのために、介護が必要となる危険性の高い状態。

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
いきいき高齢者	70	64	91%	5	7%	1	1%	0	0%
めざす姿1	13	12	92%	1	8%	0	0%	0	0%
めざす姿2	13	12	92%	0	0%	1	8%	0	0%
めざす姿3	44	40	91%	4	9%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度 ※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
いきいき高齢者	35	5	14%	6	17%	12	34%	8	23%	4	11%
めざす姿 1	6	0	0%	1	17%	2	33%	3	50%	0	0%
めざす姿 2	10	1	10%	1	10%	6	60%	2	20%	0	0%
めざす姿 3	19	4	21%	4	21%	4	21%	3	16%	4	21%

3) いきいき高齢者世代の総括評価

いきいき高齢者世代における行政・関係機関の取り組みについては、計画通り実施した事業が9割でした。

数値目標については、目標に対して後退した指標が2割ありましたが、達成・改善傾向・横ばいとなった指標は6割半ばとなり、一定の成果があったと考えます。

特に、重点取り組みである「運動をきっかけとした住民主体の健康づくり」においては、やちよ元気体操の普及啓発や、やちよ元気体操応援隊の養成とその活動支援を中心に取り組み、住民同士のつながりや地域活動への参加に努めた結果、大きな進展があったと考えます。やちよ元気体操を知っている高齢者の割合は51.5%となり、平成23年調査と比べて18.7ポイント増加し、やちよ元気体操の認知度は着実に上がっています。また、やちよ元気体操応援隊による体操グループ数は65グループとなり目標値(35グループ)を大きく上回り、参加者数も約2,000人となりました。

平成28年度には厚生労働省主催の第5回健康寿命をのばそう！アワードにおいて「優良賞」を受賞し、健康寿命の延伸に資する優れた取り組みとして評価されました。

また、平成28年度から介護予防サロンに対する支援が始まり、高齢者が気軽に集える場を増やしていくよう努めます。このような取り組みと合わせて、今後も重点取り組みである「運動をきっかけとした住民主体の健康づくり」をすすめながら、めざす姿「1 生きがいづくり」「2 身近な地域でのふれあい」「3 心身機能の維持」を三位一体で推進します。

2 めざす姿ごとの評価および今後について

めざす姿

1

生きがいを持って、いきいき過ごしている

いくつになっても、趣味や社会的な役割を持ち、積極的に地域活動*に参加し、生きがいのある毎日を送ることをめざします。

*地域活動：家から離れて他者と協働して行う社会参加（就労，ボランティア，生涯学習，趣味など）の活動を示す。

【行動目標①】 趣味などを楽しんだり、何らかの地域活動を通じて、自らの力を発揮します

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿 1	13	12	92%	1	8%	0	0%	0	0%
行動目標①									

2) 数値目標について：目標に対する達成度

※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿 1	6	0	0%	1	17%	2	33%	3	50%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	5	0	0%	1	20%	1	20%	3	60%	0	0%

3) まとめ

めざす姿 1 における行政・関係機関の取り組みについては、地域活動への参加を促す講座の開催、高齢者の特技や経験を活かすシルバー人材センターなどの運営、地域活動を行う団体への支援を行いました。平成 26 年度には「やちよ地域活動メニュー」の作成と配布を行い地域活動への参加を促しました。

数値目標は、生涯学習情報が得られやすいと感じている高齢者の割合は改善傾向を示し、それ以外の指標は横ばいまたは後退という結果でした。指標間の関連では、生きがいと団体活動やイベントへの参加状況には有意な関連が認められ、生きがいづくりのために地域活動への参加を促していく必要があることを確認しました。

今後もより多く的高齢者が地域活動に参加できるように内容の充実をめめます。また、地域活動情報をより多くの高齢者に届けられるように、インターネットを活用した方法と並行して、それを利用しない高齢者にも情報が届くよう工夫します。

めざす姿

2

身近な場所でのふれあいを楽しんでいる

いつまでも住み慣れたまちで、家族や友人・子どもたちとの交流を楽しむことをめざします。

【行動目標①】 近所の人（子どもを含む）と楽しい時間を過ごします

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組みなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿2	13	12	92%	0	0%	1	8%	0	0%
行動目標①									

2) 数値目標について：目標に対する達成度 ※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿2	10	1	10%	1	10%	6	60%	2	20%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標②	9	1	11%	1	11%	5	56%	2	22%	0	0%

3) まとめ

めざす姿2における行政・関係機関の取り組みについては、住民同士の交流を促進するため、やちよ元気体操応援隊による体操グループや介護予防サロンの活動支援、世代間交流事業などを行いました。平成28年度には世代間交流を目的とした「やちよ元気体操ふれあい編」を作成、平成29年度には介護予防サロンなどの高齢者が気軽に集える場を掲載した「ふれあいマップ（市全域の地図）」を作成し周知しています。また、高齢者が安心して外出するために、道路などのバリアフリー化と合わせて、福祉教育を通じたところのバリアフリー化にも努めてきました。

数値目標は、上位指標を含む6割の指標が横ばいで推移しています。指標間の関連では、近所の人との付き合い方や近所の子どもとの挨拶や会話の有無、身近な場所で気軽に集える場の有無は、いずれも主観的健康感（自分が感じている健康状態）との有意な関連が認められ、高齢者の健康づくりのために地域交流が必要であることを改めて確認できました。

今後もこれまでの取り組みを継続しながら、特に住民同士の交流機会を増やすため、やちよ元気体操応援隊による体操グループや介護予防サロンの増加に努めます。また「ふれあいマップ」は圏域ごとの作成を検討しており、身近な地域の情報をより分かりやすく提供していく予定です。

めざす姿

3

心身機能を保ち、認知症、ロコモティブ症候群、
低栄養など老年症候群を予防する

高齢者の心身機能の低下を緩やかにするため、運動・食生活・歯と口腔・休養に関する生活習慣を見直し、認知症やロコモティブ症候群、低栄養などの予防に努めます。

- 【行動目標①】 気軽に楽しく運動を続けます
 【行動目標②】 食を楽しみ、低栄養の予防に努めます
 【行動目標③】 歯と口腔の健康を保ち、おいしく食べます
 【行動目標④】 ストレスと上手につきあい、1人で悩まず誰かに相談します

1) 行政・関係機関の取り組みについて：4年間（平成25～28年度）の総評

	事業数	1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
めざす姿3	44	40	91%	4	9%	0	0%	0	0%
行動目標① 【運動】	19	19	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標② 【食生活】	5	4	80%	1	20%	0	0%	0	0%
行動目標③ 【歯と口腔】	8	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標④ 【こころ】	12	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%

2) 数値目標について：目標に対する達成度 ※詳細は指標数値の比較一覧を参照。

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
めざす姿3	19	4	21%	4	21%	4	21%	3	16%	4	21%
上位指標	1	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標① 【運動】	3	1	33%	0	0%	1	33%	1	33%	0	0%
行動目標② 【食生活】	7	1	14%	1	14%	2	29%	0	0%	3	43%
行動目標③ 【歯と口腔】	5	0	0%	3	60%	0	0%	1	20%	1	20%
行動目標④ 【こころ】	3	1	33%	0	0%	1	33%	1	33%	0	0%

3) まとめ

めざす姿3における行政・関係機関の取り組みについては、心身機能を保ち、認知症やロコモティブ症候群などを予防することを目的に行動目標①～④に関する講座の開催や様々な機会での情報提供を行いました。また、個別相談にも応じ、実践につながるように支援しました。

行動目標①については、運動をきっかけとした住民主体の健康づくりが大きく進展し、やちよ元気体操応援隊による体操グループが毎年10以上発足するペースで増えています。

行動目標②については、平成29年度に市民主体の食を通じた健康づくりの推進に着手し、男性の地域活動の促進を兼ねた「男の料理塾」を開催しました。講座終了後は参加者が協力しあって健康に配慮した男性の料理グループを発足し、市民主体の健康づくり活動として続いています。

数値目標は、達成・改善傾向・横ばいとなった指標が6割以上ありました。

今後もより多くの高齢者が健康によい生活習慣を身につけられるよう行動目標①～④に関する普及啓発に努めます。

また、行動目標①と②については住民同士で協力しながら、健康によい生活習慣を身につけられるように人材の育成とその活動支援に引き続き取り組みます。

行政・関係機関の取り組みについて：４年間（平成 25～28 年度）の総評

平成 29 年度 八千代市第 2 次健康まちづくりプランに基づく事業の進捗状況調査より

	事業数	４年間(平成 25～28 年度)の総評							
		1. 計画通り実施		2. 計画通りではないが、概ね実施		3. 取り組みに遅れがあった		4. ほとんど取り組めなかった	
		事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
全世代	223	191	86%	31	14%	1	0%(0.4)	0	0%
すこやか親子	77	71	92%	6	8%	0	0%	0	0%
めざす姿 1	21	20	95%	1	5%	0	0%	0	0%
行動目標①	13	13	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	8	7	88%	1	13%	0	0%	0	0%
めざす姿 2	18	16	89%	2	11%	0	0%	0	0%
行動目標①	6	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	3	3	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標③	9	7	78%	2	22%	0	0%	0	0%
めざす姿 3	38	35	92%	3	8%	0	0%	0	0%
行動目標①	8	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	12	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
行動目標③	6	6	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標④	12	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%
はつらつ成年	76	56	74%	20	26%	0	0%	0	0%
めざす姿 1	76	56	74%	20	26%	0	0%	0	0%
行動目標①	9	5	56%	4	44%	0	0%	0	0%
行動目標②	11	6	55%	5	45%	0	0%	0	0%
行動目標③	20	18	90%	2	10%	0	0%	0	0%
行動目標④	8	3	38%	5	63%	0	0%	0	0%
行動目標⑤	7	6	86%	1	14%	0	0%	0	0%
行動目標⑥	7	5	71%	2	29%	0	0%	0	0%
行動目標⑦	9	8	89%	1	11%	0	0%	0	0%
行動目標⑧	5	5	100%	0	0%	0	0%	0	0%
いきいき高齢者	70	64	91%	5	7%	1	1%	0	0%
めざす姿 1	13	12	92%	1	8%	0	0%	0	0%
行動目標①	13	12	92%	0	0%	1	8%	0	0%
めざす姿 2	13	12	92%	0	0%	1	8%	0	0%
行動目標①	13	12	92%	0	0%	1	8%	0	0%
めざす姿 3	44	40	91%	4	9%	0	0%	0	0%
行動目標①	19	19	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標②	5	4	80%	1	20%	0	0%	0	0%
行動目標③	8	8	100%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標④	12	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%

数値目標について：目標に対する達成度

	指標数	A 達成		B 改善傾向		C 横ばい		D 後退		E 判定不能	
		指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合	指標数	割合
全世代	197	32	16%	34	17%	76	39%	47	24%	8	4%
全世代通じた大目標	3	0	0%	0	0%	2	67%	1	33%	0	0%
すこやか親子	122	22	18%	22	18%	44	36%	31	25%	3	2%
めざす姿 1	20	3	15%	3	15%	9	45%	5	25%	0	0%
上位指標	1	0	0%		0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	10	3	30%	1	10%	3	30%	3	30%	0	0%
行動目標②	9	0	0%	2	22%	5	56%	2	22%	0	0%
めざす姿 2	21	0	0%	0	0%	12	57%	9	43%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	10	0	0%	0	0%	7	70%	3	30%	0	0%
行動目標②	6	0	0%	0	0%	2	33%	4	67%	0	0%
行動目標③	4	0	0%	0	0%	2	50%	2	50%	0	0%
めざす姿 3	81	19	23%	19	23%	23	28%	17	21%	3	4%
上位指標	4	0	0%	0	0%	4	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	9	0	0%	3	33%	2	22%	4	44%	0	0%
行動目標②	23	7	30%	2	9%	9	39%	5	22%	0	0%
行動目標③	22	3	14%	6	27%	6	27%	7	32%	0	0%
行動目標④	23	9	39%	8	35%	2	9%	1	4%	3	13%
はつらつ成年	37	5	14%	6	16%	18	49%	7	19%	1	3%
めざす姿 1	37	5	14%	6	16%	18	49%	7	19%	1	3%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	9	2	22%	1	11%	5	56%	0	0%	1	11%
行動目標②	2	0	0%	0	0%	1	50%	1	50%	0	0%
行動目標③	6	0	0%	1	17%	4	67%	1	17%	0	0%
行動目標④	7	0	0%	2	29%	4	57%	1	14%	0	0%
行動目標⑤	4	2	50%	0	0%	1	25%	1	25%	0	0%
行動目標⑥	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標⑦	4	1	25%	1	25%	1	25%	1	25%	0	0%
行動目標⑧	3	0	0%	1	33%	0	0%	2	67%	0	0%
いきいき高齢者	35	5	14%	6	17%	12	34%	8	23%	4	11%
めざす姿 1	6	0	0%	1	17%	2	33%	3	50%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標①	5	0	0%	1	20%	1	20%	3	60%	0	0%
めざす姿 2	10	1	10%	1	10%	6	60%	2	20%	0	0%
上位指標	1	0	0%	0	0%	1	100%	0	0%	0	0%
行動目標②	9	1	11%	1	11%	5	56%	2	22%	0	0%
めざす姿 3	19	4	21%	4	21%	4	21%	3	16%	4	21%
上位指標	1	1	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
行動目標①	3	1	33%	0	0%	1	33%	1	33%	0	0%
行動目標②	7	1	14%	1	14%	2	29%	0	0%	3	43%
行動目標③	5	0	0%	3	60%	0	0%	1	20%	1	20%
行動目標④	3	1	33%	0	0%	1	33%	1	33%	0	0%

【すこやか親子世代】 八千代市第2次健康まちづくりプラン 指標数値の比較一覧

【判定区分と判定基準】

- A（達成）：直近値が目標値を既に達成している
- B（改善傾向）：直近値が目標値に達していないが、基準値と比較すると改善している
- C（横ばい）：直近値が基準値に比べ、変わらない
- D（後退）：直近値が基準値に比べ、悪化している
- E（判定不能）：調査内容の違いなどにより判定ができない

☆印あり：基準値と直近値に有意な増減があった場合には判定が「B」か「D」、有意な差が認められない場合には「C」となる。
☆印なし：1ポイント未満の増減は「C」、1ポイント以上の増減で目標値に達していない場合は「B」か「D」となる。

基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆
-----------------	----	-----------------	----	-----------------	----	----------

基本目標1 子どもから高齢者までみんないきいき暮らすまち・やちよ

毎日を健やかに充実して暮らしていると思う市民の割合	乳幼児親 87.6% 小学生親 86.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	86.5% 86.5%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問1 小保 問1	増加	C	☆
---------------------------	--------------------------	----------------------	----------------	----------------------	----------------	----	---	---

基本目標2 みんなのいきいきを応援しあうまち・やちよ

地域の中に健康を支え合う関係があると思う市民の割合	乳幼児親 62.2% 小学生親 63.4%	第2次プラン調査 (平成23年度)	56.5% 60.4%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問2 小保 問2	増加	C	☆
---------------------------	--------------------------	----------------------	----------------	----------------------	----------------	----	---	---

基本目標3 健康な暮らしの環境づくりをすすめるまち・やちよ

健康に暮らせる環境づくりをすすめているまちと思う市民の割合	乳幼児親 44.3% 小学生親 44.1%	第2次プラン調査 (平成23年度)	40.2% 47.1%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問3 小保 問3	増加	C	☆
-------------------------------	--------------------------	----------------------	----------------	----------------------	----------------	----	---	---

めざす姿1	親がゆとりを持って、いきいきと子育てをしている	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典		目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆
上位指標	ゆとりを持って子育てしていると感じている乳幼児の親の割合	62.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	56.8%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問4	75%	C	☆
親は子どもと過ごす 時を楽しみます	子どもと過ごす毎日は楽しいとよく感じている乳幼児の親の割合	71.8%	〃	63.6%	〃	乳保 問5	75%	D	☆
	子育てをしている中で不安を感じている乳幼児の親の割合	67.2%	〃	70.9%	〃	乳保 問6	55%以下	C	☆
	子どもの年齢に合った接し方ができていると感じる親の割合	乳幼児親 85.3% 小学生親 88.2%	〃	83.8% 87%	〃	乳保 問8 小保 問4	増加	C C	☆
	子育てについて相談したり頼れる子育てを通じた友人が身近にいる乳幼児の親の割合	57.4%	〃	49.3%	〃	乳保 問7	70%	D	
	子育てについて相談したり頼れる近所の人がいる乳幼児の親の割合	22.9%	〃	18.8%	〃	乳保 問7	35%	D	
	子育てについて相談したり頼れる配偶者がいる乳幼児の親の割合	82.7%	〃	83.5%	〃	乳保 問7	増加	A	
	1歳6か月児健康診査(内科)の満足度	89.2%	平成23年度 1歳6か月児歯 科健康診査時調査	93.7%	平成28年度 1歳6か月児歯 科健康診査時調査		増加	A	
	妊娠11週以下の妊娠届出割合	86.3%	平成23年度 事業統計	90.3%	平成28年度 事業統計		100%	B	
	地域子育て支援センター等と母子保健課での母子健康手帳の交付割合	52.5%	〃	100%	〃		60%	A	
	時には子どもを預け、趣味など自分の時間を持つことができていると思う乳幼児の親の割合	43.7%	第2次プラン調査 (平成23年度)	41.8%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問9	55%	C	☆
行動目標②	子育て以外の時間を持つことを助めてくれる乳幼児の父親の割合	64.2%	〃	64.7%	〃	乳保 問11	75%	C	☆
	子育てをよくやっている乳幼児の父親の割合	41.7%	〃	45.7%	〃	乳保 問12	50%	C	☆
	子育て中の母親であっても自分の時間を持つのがよいと思う人の割合	小学生親 81.3% 成人 71.4% 高齢者 50.4%	〃	81.5% 74% 53.8%	〃	小保 問8 成人 問25 高齢 問26	85% 75% 55%	C B B	
	ファミリー・サポート・センターの会員数	協力会員123件 両方会員102件 (依頼会員647件)	平成23年度 事業統計	106件 52件 (643件)	平成28年度 事業統計		協力・両方会員の 増加	D D	
	リフレッシュ目的でのファミリー・サポート・センター利用割合	3.3%	〃	4.2%	〃		6%	C	

めざす姿2 親も子ども地域の中で育ちあう		基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	
上位指標	子育てをしていることで、自分は成長していると感じる乳幼児の親の割合	83.3%	第2次プラン調査 (平成23年度)	83.3%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問10	増加	C	☆
行動目標① 地域の中で安心して 子育てします	地域の人に見守られ安心して子育てができていると思う親の割合	乳幼児親 55.6% 小学生親 59.5%	〃	52.2% 60%	〃	乳保 問14 小保 問9	65% 70%	C C	☆
	ここ1年の間に周囲の子育て中の人に声をかけたり手助けしたり相談にのったことがある人の割合	小学生親 55.4% 成人 35.9% 高齢者 27.2%	〃	55.4% 38.5% 26.1%	〃	小保 問10 成人 問24 高齢 問25	65% 45% 35%	C C C	☆
	【再掲】子育てについて相談したり頼れる近所の人がいる乳幼児の親の割合	22.9%	〃	18.8%	〃	乳保 問7	35%	D	
	子どもが健やかに育つためには学校や保護者任せにせず地域住民も協力していくのが望ましいと思う人の割合	小学生親 52.2% 成人 57.7% 高齢者 55.5%	〃	49.8% 56.4% 55.3%	〃	小保 問8 成人 問25 高齢 問26	60% 70% 65%	D D C	
	周囲の人との人間関係で悩みや不安・心配を感じている乳幼児の親の割合	16.3%	〃	16.4%	〃	乳保 問6-1	10%以下	C	
行動目標② 親は子育ての経験を 地域の中で発揮しま す	子育ての経験を地域の中で活かすことができていると思う親の割合	乳幼児親 21.3% 小学生親 34.3%	〃	20.3% 35%	〃	乳保 問15 小保 問11	30% 45%	C C	☆
	地域子育て支援センター等での親の自主活動支援数	41件	平成22年度 事業統計	32件	平成28年度 事業統計		増加	D	
	市内のサークル数(子ども支援センターすてっぷ21で把握しているサークル)	23サークル	平成23年度実績	13サークル	平成28年度実績		増加	D	
	【再掲】子育てについて相談したり頼れる子育てを通じた友人が身近にいる乳幼児の親の割合	57.4%	第2次プラン調査 (平成23年度)	49.3%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問7	70%	D	
	【再掲】子育てについて相談したり頼れる近所の人がいる乳幼児の親の割合	22.9%	〃	18.8%	〃	乳保 問7	35%	D	
行動目標③ 父親も子育てを通し て地域で交流を持ち 家族や仲間と子育て を楽しみます	父親が子育てを楽しんでいると思う親の割合	乳幼児親 81.7% 小学生親 66.7%	〃	85.3% 69%	〃	乳保 問13 小保 問5	増加 75%	C C	☆
	地域子育て支援センター等・母子保健課での父親向け事業の数と父親参加数	地域子育て支援センター等 6回138名 母子保健課 12回268名	平成23年度実績	6回100名 12回216名	平成28年度実績		増加	D D	

めざす姿3 子どもが心身共に健やかに成長している		基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆
上位指標	毎日を元気に楽しく暮らしていると思う子の割合	小学生 91.8% 中学生 90.3%	第2次プラン調査 (平成23年度)	91.3% 90%	第2次プラン調査 (平成28年度)	小学生 問3 中学生 問1	増加 C C	☆
	子どもが心身共に健やかに発育・発達していると感じる親の割合	乳幼児親 93.6% 小学生親 90.6%	〃	92.9% 89%	〃	乳保 問16 小保 問12	増加 C C	☆
行動目標① 遊びを通じて子どもの しなやかな身体、 豊かなこころを育て ます	休日や放課後、友だちや兄弟姉妹と週3日以上外遊びをしている子の割合	乳幼児親 73.8% 小学生親 55.7% 小学生 57.5%	〃	72.2% 55% 47.4%	〃	乳保 問17 小保 問13 小学生 問5	80% 65% 65% C C D	☆
	子どもの非活動時間(テレビ視聴、パソコン、ゲームなど)に対して時間などの制限を設けている親の割合	乳幼児親 37.8% 小学生親 48.3%	〃	46% 54%	〃	乳保 問18 小保 問14	70% B B	
	「自分の住まいの周辺は、子どもが遊ぶのに安心な環境だ」と思う親の割合	乳幼児親 52.4% 小学生親 51%	〃	52.1% 58.7%	〃	乳保 問19 小保 問15	60% C B	☆
	【再掲】子育てについて相談したり頼れる子育てを通じた友人が身近にいる乳幼児の親の割合	57.4%	〃	49.3%	〃	乳保 問7	70% D	
	【再掲】子育てについて相談したり頼れる近所の人がいる乳幼児の親の割合	22.9%	〃	18.8%	〃	乳保 問7	35% D	

めざす姿3 子どもが心身共に健やかに成長している		基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	
行動目標② 食を通じて子どもの 社会性と食の自己 管理能力を身につ け、しなやかな身 体、豊かなこころを 育てます	自己肯定感が高い子の割合(「私はやればできる・自分のことが好き」共に肯定)	小学生 55.2% 中学生 39.3%	第2次プラン調査 (平成23年度)	51.8% 44.9%	第2次プラン調査 (平成28年度)	小学生 問3 中学生 問1	70% 60%	D B	
	小中学生の肥満の割合 ※1	小学生 肥満度(村田式) ー (ローレル指数 9.8%) 中学生 肥満度(村田式) ー (ローレル指数10.8%)	平成23年度 健康診断統計	6.3% (ローレル指数10.8%) 6.7% (ローレル指数8.7%)	平成28年度健康診断統計 (ローレル指数:平成27年 度健康診断統計)		7%以下	D B	
	小中学生のやせの割合 ※1	小学生 肥満度(村田式) ー (ローレル指数 23.8%) 中学生 肥満度(村田式) ー (ローレル指数33.2%)	〃	2.2% (ローレル指数 23.3%) 2.8% (ローレル指数37.8%)	〃		減少	A D	
	朝食の欠食率	小学5年生1.6% 中学2年生4.7%	平成23年度学校給 食実施状況調査	1% 3.1%	平成28年度学校給 食実施状況調査		現状維持	A A	
	朝食または夕食を家族と一緒に食べる頻度(家族との共食頻度)	小学生 10.5回/週 中学生 10.3回/週	第2次プラン調査 (平成23年度)	10.3回/週 10.5回/週	第2次プラン調査 (平成28年度)	小学生 問8 中学生 問7	現状維持	A A	
	家族と食事をするのが楽しい小学生の割合	92.1%	〃	87.9%	〃	小学生 問9	現状維持	D	☆
	からだによい食べ物や栄養バランスのよい食事に興味がある子の割合	小学生 68% 中学生 58.7%	〃	74.9% 65.1%	〃	小学生 問4 中学生 問6	80% 70%	C C	☆
	子どもと一緒に月2回以上食事づくりをする小学生の親の割合	26.2%	〃	22.6%	〃	小保 問18	40%	C	☆
	料理をすることに興味がある子の割合	小学生 75.7% 中学生 70.6%	〃	76.7% 70%	〃	小学生 問4 中学生 問6	80% 75%	C C	☆
	小学生がつくれるような料理を知っている小学生の親の割合	89.1%	〃	84.8%	〃	小保 問19	現状維持	C	☆
	農業体験を実施している学校数	小学校23校中14校 中学校11校中10校	平成23年度実績	22校中11校 11校中8校	平成28年度実績		増加 現状維持	D D	
	農業生産者と関わりのある食育を実施している小学校数	小学校 5校	〃	22校	〃		全校	A	
	農業を体験することに興味のある子の割合	小学生 64.3% 中学生 39.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	60% 40.4%	第2次プラン調査 (平成28年度)	小学生 問4 中学生 問6	70% 45%	C C	☆
	学校給食における地場産物を使用する割合(県内産)	32.4%	平成23年度 学校給食 食材料調査	36%	平成28年度 学校給食 食材料調査		現状維持	A	
行動目標③ 思春期の子は自分 や他者を大切にし、 生と性の課題につ いて適切に対処します	中学生が性関係を持つことについて容認する中学生の割合	中学3年 32.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	33.1%	第2次プラン調査 (平成28年度)	中学生 問10	15%以下	C	☆
	自身が高校生になってから、性関係を持つことを肯定する中学生の割合	中学3年 36.9%	〃	38.4%	〃	中学生 問11	20%以下	C	☆
	【再掲】自己肯定感が高い子の割合(「私はやればできる・自分のことが好き」共に肯定)	小学生 55.2% 中学生 39.3%	〃	51.8% 44.9%	〃	小学生 問3 中学生 問1	70% 60%	D B	
	中学生の喫煙経験率	男子 8.7% 女子 5.3%	平成21年度 改訂版策定 のためのアンケート	3.2% 2%	〃	中学生 問8	0%	B B	
	中学生の飲酒経験率	男子 35.5% 女子 27.4%	〃	17.9% 14.3%	〃	中学生 問9	0%	B B	
	中学生のやせの割合 ※1	男子 肥満度(村田式) ー (ローレル指数40.9%) 女子 肥満度(村田式) ー (ローレル指数24.8%)	平成23年度 健康診断統計	5.5% (ローレル指数46.5%) 7.2% (ローレル指数29.1%)	平成28年度健康診断統計 (ローレル指数:平成27年 度健康診断統計)		減少	D D	
	避妊法について知っている中学生の割合 ・避妊法についての3つの質問に全問正解の割合	中学3年 8.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	6.8%	第2次プラン調査 (平成28年度)	中学生 問12	50%	D	
	性感染症について知っている中学生の割合 ・性感染症についての3つの質問に全問正解の割合	中学3年 5.3%	〃	4.2%	〃	中学生 問12	50%	D	
	友だちに信頼されていると思う子の割合	小学生 72.8% 中学生 72.4%	〃	77.8% 76.5%	〃	小学生 問3 中学生 問1	80%	B C	☆

めざす姿3 子どもが心身共に健やかに成長している		基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典		目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆
行動目標③ 思春期の子は自分 や他者を大切にし、 生と性の課題につい て適切に対処します	両親との対話のある子の割合	小学生父親 81% 母親 95.4% 中学生父親 75.1% 母親 91.1%	第2次プラン調査 (平成23年度)	78.1% 95.2% 73.2% 88.4%	第2次プラン調査 (平成28年度)	小学生 問10 小学生 問10 中学生 問4 中学生 問4	増加 現状維持 増加 現状維持	C A C D	☆ ☆有意差なし ☆ ☆
	子どもと対話のある小学生の保護者の割合	父親 78.9% 母親 97.2%	〃	80% 97.5%	〃	小保 問21 小保 問21	現状維持	A A	☆有意 差なし
	大切にしてくれる大人がいる子の割合	小学生 94.3% 中学生 89.1%	〃	93% 89.7%	〃	小学生 問3 中学生 問1	現状維持	C D	☆
	生活リズム(早寝・早起き)に気をつけている親の割合	乳幼児親 94.4% 小学生親 94.7%	〃	94.8% 95%	〃	乳保 問20 小保 問17	現状維持	A A	☆有意 差なし
行動目標④ 親は子どもの安全を 保障し、健やかな成 長発達を促します	3歳児におけるむし歯のない人の割合	76.1%	平成23年度 事業統計	82.5%	平成28年度 事業統計		80%	A	
	12歳児におけるむし歯のない人の割合	56.3%	平成23年度 学校保健統計	68.8%	平成28年度 学校保健統計		65%	A	
	12歳児における1人平均むし歯数	0.95歯	〃	0.5歯	〃		0.5歯	A	
	フッ素配合歯みがき剤を使っている(小学生親は子どもに使わせている)人の割合	小学生親 52.9% 中学生 42%	第2次プラン調査 (平成23年度)	55% 47.5%	第2次プラン調査 (平成28年度)	小保 問20 中学生 問2	80%	B B	
		1歳6か月児 60.7%	平成24年度事業統 計(10～1月)	75.7%	平成28年度 事業統計		70%	A	
	定期的に歯科健診を受けている人(小学生親は子どもに受けさせている)の割合 (学校歯科健診以外にも受けている割合)	小学生親 52.7% 中学生 20.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	58.5% 24.7%	第2次プラン調査 (平成28年度)	小保 問20 中学生 問2	65% 30%	B B	
	妊娠届出時に喫煙している母親の割合	2.9%	平成23年度 事業統計	1.7%	平成28年度 事業統計		0%	B	
	10か月児を持つ母親の喫煙割合	2.9%	〃	2.4%	〃		0%	C	
	1歳6か月児健康診査時において家族内に喫煙者がいる割合	39.6%	〃	20.7%	〃		35%以下	A	
	妊婦の飲酒率	—		1.4%	〃		0%	E	
	BCG予防接種の接種率	95.8%	平成23年度 事業統計	101.1%	〃		95%維持	A	
	麻しん風しん混合予防接種(第1期・第2期)の接種率	第1期 91.9% 第2期 95.5%	〃	100% 94.1%	〃		95% 95%維持	A D	
	かかりつけの小児科医を持つ乳幼児の親の割合	96.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	95.9%	第2次プラン調査 (平成28年度)	乳保 問21	100%	C	☆
	休日・夜間救急医を知っている親の割合	93.9%	平成23年度1歳6か月児歯 科健康診査時調査	94.9%	平成28年度1歳6か月児歯 科健康診査時調査		100%	B	
	誤飲防止の取り組み割合(たばこ・マッチ・薬・化粧品・洗剤などを子どもの手の届 かないところに置いている)	91.9%	〃	94.9%	〃		95%	B	
	転落防止の取り組み割合(階段や段差のあるところには、子どもが落ちないような 対策をしている)	69.5%	〃	73.7%	〃		80%	B	
	溺水防止の取り組み割合(浴室のドアに子どもが一人で開けることのできない工夫 をしている)	51.8%	〃	33% ※2	平成28年度1歳6か月児歯 科健康診査子育てアン ケート		100%	E	
	小児・乳児に対する心肺蘇生法を受講した人の数 (平成24年度からコース開催)	—		21回 228名	平成28年度実績		受講者数の増加	E	

※1 平成28年度から肥満度(村田式)を採用。基準値及び目標値はローレル指数採用時の値となり、ローレル指数で判定。

※2 聞き方の変更により参考値

【はつらつ成年世代】 八千代市第2次健康まちづくりプラン 指標数値の比較一覧

【判定区分と判定基準】

A（達成）	: 直近値が目標値を既に達成している	☆印あり: 基準値と直近値に有意な増減があった場合には判定が「B」か「D」、有意な差が認められない場合には「C」となる。 ☆印なし: 1ポイント未満の増減は「C」、1ポイント以上の増減で目標値に達していない場合は「B」か「D」となる。
B（改善傾向）	: 直近値が目標値に達していないが、基準値と比較すると改善している	
C（横ばい）	: 直近値が基準値に比べ、変わらない	
D（後退）	: 直近値が基準値に比べ、悪化している	
E（判定不能）	: 調査内容の違いなどにより判定ができない	

基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
-----------------	----	-----------------	----	-----------------	----	----------	----------------

基本目標1 子どもから高齢者までみんないきいき暮らすまち・やちよ

毎日を健やかに充実して暮らしていると思う市民の割合	82.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	80.9%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問26	増加	C	☆	
---------------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	------	----	---	---	--

基本目標2 みんなのいきいきを応援しあうまち・やちよ

地域の中に健康を支え合う関係があると思う市民の割合	47.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	43%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問27	増加	C	☆	
---------------------------	-------	----------------------	-----	----------------------	------	----	---	---	--

基本目標3 健康な暮らしの環境づくりをすすめるまち・やちよ

健康に暮らせる環境づくりをすすめているまちと思う市民の割合	37.2%	第2次プラン調査 (平成23年度)	33.7%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問28	増加	C	☆	
-------------------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	------	----	---	---	--

めざす姿1	地域とのつながりを保ちながら、心身ともに支障がなく、自分らしい生活ができる	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
上位指標	心身ともに支障なく、仕事、家事、育児等ができている人の割合	84.7%	第2次プラン調査 (平成23年度)	80.5%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問21	増加	C	☆
健康に配慮し、楽しく食べます	適正体重を保っている人の割合（BMI標準）	67.9%	〃	69.1%	〃	成問16	75%以上	B	☆
	健康のために、栄養バランス（主食・主菜・副菜）を考えて食べることを重視している人の割合	52.8%	〃	43.2% ※1	〃	成問2	75%以上	E	
	朝食の欠食率	18～20歳代男性 36.1% 30歳代男性 24.4% 18～20歳代女性 22.2% 30歳代女性 16.2%	〃	27.5% 30.4% 19.6% 7.4%	〃	成問1	男女とも15%以下	C C C C	☆ 有り
	健康に配慮したメニューや栄養成分表示などがあるお店が増えていると思う人の割合	63.2%	〃	67.5%	〃	成問4	75%以上	C	☆ 有り
	健康ちば協力店など食の健康に取り組む店舗数	健康ちば協力店登録数 33店舗	習志野健康福祉センター事業 統計（平成23年度）	36店舗	習志野健康福祉センター事業 統計（平成28年度）		増加	A	
		－		野菜たっぷりメニュー 登録店舗数: 28店舗	平成28年度実績			A	
行動目標②	ストレスに対処できていると思う人の割合	71.7%	第2次プラン調査 (平成23年度)	69.5%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問8	80%以上	C	☆ 有り
こころの健康を保ちます	毎日の睡眠がとれていると思う人の割合	67.5%	〃	60.3%	〃	成問7	増加	D	☆ 有り

めざす姿1	地域とのつながりを保ちながら、心身ともに支障がなく、自分らしい生活ができる	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典		目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
行動目標③	1年以上前から1回30分以上の運動を週2回以上実施している人の割合	18～64歳 39.4% 18～39歳 28.8% 40～64歳 45.2%	第2次プラン調査 (平成23年度)	38.3% 39.6% 37.7%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問6	50%以上 40%以上 55%以上	C B D	☆	有り
気軽に体を動かす習慣を身につけます	日常生活の中で、週3日以上健康のために少し息がはずむくらい体を動かすことを心がけている人の割合	18～64歳 19.6% 18～39歳 22% 40～64歳 17.8%	〃	19.3% 21.5% 18.5%	〃	成問6-1	30%以上	C C C		
行動目標④ 生活の中からたばこの煙を減らします	喫煙率	男性 32% 女性 11.4%	〃	31% 9.2%	〃	成問9	20%以下 5%以下	C C	☆	
	たばこをやめたいと思う人の割合	36.5%	〃	28.8%	〃	成問9-1	45%以上	D		
	禁煙を支援する医療機関や歯科医療機関を知っている人の割合	71.6%	〃	72.5%	〃	成問10	80%以上	B	☆	
	職場・飲食店において、禁煙・分煙が進んでいると感じる人の割合	職場 60.6% 飲食店 10.1%	〃	59.9% 14.7%	〃	成問11	70%以上 20%以上	C B	☆	
	公共施設の施設内禁煙率	97.6%	平成23年度 公共施設 への調査	98.3%	平成28年度 公共施設 への調査		100%	C		
行動目標⑤ 歯と口腔の状態に不安をかかえることなく、おいしく食べます	60歳で24本以上自分の歯を有する人の割合	83.3%	平成23年度 成人歯科 健康診査統計	68.8%	平成28年度 成人歯科 健康診査統計		90%以上	D		
	自分の歯でおいしく食事ができると思う人の割合	94.4%	第2次プラン調査 (平成23年度)	94.8%	第2次プラン調査 (平成28年度)	成問20	増加	A	☆有意 差なし	
	定期的に(1年に1回以上)歯科医院で歯科健診を受けている人の割合	36.1%	〃	39.4%	〃	成問18	60%以上	C	☆	有り
	ふだん、歯や口の健康のために、特に取り組んでいることがない人の割合	23%	〃	17.2%	〃	成問19	減少	A		
行動目標⑥ 休肝日をつくり、お酒と上手につきあいます	アルコールをほぼ毎日飲むとした人の割合	18.8%	〃	20.8%	〃	成問5	減少	C	☆	
行動目標⑦ 生活習慣病の早期発見・早期治療、生活の見直しに努めます	がん検診もしくは特定健康診査などを定期的に受けている人の割合	71.6%	〃	77.5%	〃	成問13・14	80%以上	B		
	がん検診を定期的に受けている人の割合	44%	〃	45%	〃	成問14	55%以上	C	☆	なし
	特定健康診査などを定期的に受けている人の割合	61.3%	〃	72.1%	〃	成問13	70%以上	A	☆有意 な増加	有り
	健(検)診で要指導・要医療と指摘されたことがある人のうち、自分で生活に気をつけている人の割合	39.2%	〃	33.6%	〃	成問15	55%以上	D		
行動目標⑧ 地域の情報を得て、地域への関心を持ちます	地域の団体の活動やそれらが開くイベントに参加している人の割合	43.6%	〃	41.2%	〃	成問22	55%以上	D		
	地域の活動やイベントに参加していない人のうち、どのような活動が行われているか知らない、参加の方法がわからない人の割合	30.7%	〃	32.4%	〃	成問22-1	20%以下	D		
	【再掲】生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合	18%	市民満足度調査 (平成24年3月)	19.9%	市民意識調査 (平成28年3月)		50%	B		

※1 聞き方の変更により参考値

【いきいき高齢者世代】 八千代市第2次健康まちづくりプラン 指標数値の比較一覧

【判定区分と判定基準】

- A（達成）：直近値が目標値を既に達成している
- B（改善傾向）：直近値が目標値に達していないが、基準値と比較すると改善している
- C（横ばい）：直近値が基準値に比べ、変わらない
- D（後退）：直近値が基準値に比べ、悪化している
- E（判定不能）：調査内容の違いなどにより判定ができない

☆印あり：基準値と直近値に有意な増減があった場合には判定が「B」か「D」、有意な差が認められない場合には「C」となる。
☆印なし：1ポイント未満の増減は「C」、1ポイント以上の増減で目標値に達していない場合は「B」か「D」となる。

基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典	目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
-----------------	----	-----------------	----	-----------------	----	----------	----------------

基本目標1 子どもから高齢者までみんないきいき暮らすまち・やちよ

毎日を健やかに充実して暮らしていると思う市民の割合	84.2%	第2次プラン調査 (平成23年度)	84.5%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問28	増加	C	☆	
---------------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	------	----	---	---	--

基本目標2 みんなのいきいきを応援しあうまち・やちよ

地域の中に健康を支え合う関係があると思う市民の割合	51.7%	第2次プラン調査 (平成23年度)	47.4%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問29	増加	D	☆	
---------------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	------	----	---	---	--

基本目標3 健康な暮らしの環境づくりをすすめるまち・やちよ

健康に暮らせる環境づくりをすすめているまちと思う市民の割合	45.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	40.6%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問30	増加	C	☆	
-------------------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	------	----	---	---	--

めざす姿1	生きがいを持って、いきいき過ごしている	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典		目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
上位指標	生きがい(喜びや楽しみ)を感じている高齢者の割合	81.5%	第2次プラン調査 (平成23年度)	79.2%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問19	増加	C	☆	有り
行動目標①	団体活動やイベント等に参加している高齢者の割合	46.2%	〃	53.1%	〃	高問20	55%以上	C	☆	
	団体活動やイベント等に参加していない高齢者のうち									
趣味などを楽しんだり、何らかの地域活動を通じて、自らの力を発揮します	参加したいと思わない高齢者の割合	36.8%	〃	39.3%	〃	高問20-1	25%以下	D		
	気軽に参加できる活動が少ない高齢者の割合	8%	〃	13.9%	〃	〃	5%以下	D		
	活動場所が近くにない高齢者の割合	6.6%	〃	10.1%	〃	〃	3%以下	D		
	【再掲】生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合	18%	市民満足度調査 (平成24年3月)	19.9%	市民意識調査 (平成28年3月)		50%	B		

めざす姿2	身近な場所でのふれあいを楽しんでいる	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典		目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
上位指標	近所の人とお茶を飲む等、親しい付き合いをしている高齢者の割合	19.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	23.4%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問21	25%以上	C	☆	
行動目標① 近所の人(子どもを含む)と楽しい時間を過ごします	近所の人と立ち話す程度の付き合いをしている高齢者の割合	40.3%	〃	40.4%	〃	高問21	45%以上	C		
	近所の子どもとあいさつしたり、会話をしている高齢者の割合	47.8%	〃	48%	〃	高問24	55%以上	C	☆	有り
	自宅以外の身近な場所で仲間と気軽に集まって過ごせる場がある高齢者の割合	51.2%	〃	54.3%	〃	高問23	60%以上	C	☆	有り
	ここ1年、身内以外の高齢者と話す機会があった(話し相手になった)人の割合	成人 26.2% 中学生 29%	〃	成人 31.7% 中学生 34.9%	〃	成問23 中問5	30%以上 35%以上	A B		
	ここ1年、同年代や自分より年上の人を地域の行事や会合に誘った高齢者の割合	11.6%	〃	12%	〃	高問22	20%以上	C		
	ここ1年、身内以外の高齢者に声かけや手助けなどをしたことがない人の割合	成人 22.5% 中学生 11.2%	〃	成人 21.6% 中学生 14.4%	〃	成問23 中問5	15%以下 5%以下	C D		
	介護に関する不安や疑問があった時の相談先がわからない高齢者の割合	9.8%	〃	13.5%	〃	高問27	減少	D		

めざす姿3	心身機能を保ち、認知症、ロコモティブ症候群、低栄養など老年症候群を予防する	基準値 (平成23年度)	出典	直近値 (平成28年度)	出典		目標値 (平成34年度)	判定	検定済 ☆	主観的健康 感との関連
上位指標	65歳平均自立期間(八千代市)	男性 17.45年 女性 20.06年 (平成20年)	平成24年度健康 ちば計画策定 作業部会会議資料	17.69年 20.42年 (平成25年)	千葉県 健康情報ナビ		延伸	A		
行動目標①	意識的にいつも体を動かしている高齢者の割合	44.9%	第2次プラン調査 (平成23年度)	42.9%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問10	55%以上	D	☆	有り
気軽に楽しく運動を 続けます	身近な場所で気軽に体を動かせる場所がある高齢者の割合	80.8%	〃	80.7%	〃	高問11	増加	C	☆	有り
	やちよ元気体操応援隊による体操グループ数	13グループ	平成23年度 事業統計	65グループ	平成28年度 事業統計		35グループ	A		
行動目標② 食を楽しみ、低栄養 の予防に努めます	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合	19.3%	平成23年度 健康診査統計	18.7%	平成28年度 健康診査統計		減少	A		
	日頃の食生活で健康のための取り組みとして、毎日3食食べている高齢者の割合	74.6%	第2次プラン調査 (平成23年度)	指標削除			85%以上	E		
	日頃の食生活で健康のための取り組みとして、栄養のバランス(主食・主菜・副菜)を考えて食べる高齢者の割合	72.6%	〃	77.4% ※1	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問1	増加	E		有り
	外食・中食をする時に、健康のために野菜が多いメニューや野菜料理を一品プラスして選ぶ高齢者の割合	32%	〃	36.3%	〃	高問2	40%以上	B		
	食生活について気になることがある時、相談先がわからない高齢者の割合	3.6%	〃	3.6%	〃	高問5	減少	C		
	食生活について気になることがある時、相談しない高齢者の割合	19.4%	〃	19%	〃	高問5	15%以下	C		
	家族や友人と一緒に食事をしている高齢者の割合	83.8%	高齢者の保健福祉・介護 保険ニーズ調査結果報告 書H23年3月	68.1% ※2	高齢者等の保健福祉・ 介護保険ニーズ調査結 果報告書H29年3月		増加	E		
行動目標③ 歯と口腔の健康を保 ち、おいしく食べます	食事に支障なく噛める高齢者の割合	57.1%	〃	84.3% ※3	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問6	70%以上	E		有り
	80歳で20本以上自分の歯を有する人の割合	75.1%	平成23年度成人歯科 健康診査統計	69.4%	平成28年度成人歯 科健康診査統計		増加	D		
	定期的に(1年に1回以上)歯科医院で歯科健診を受けている高齢者の割合	50.4%	第2次プラン調査 (平成23年度)	60.9%	第2次プラン調査 (平成28年度)	高問7	65%以上	B	☆	有り
	日に2回は時間をかけて、ていねいに歯みがきをする高齢者の割合	40%	〃	42.1%	〃	高問8	50%以上	B		
	舌の体操やだ液が出やすくなるマッサージを行っている高齢者の割合	5.1%	〃	7.8%	〃	高問8	20%以上	B		
行動目標④ ストレスと上手につ きあい、1人で悩まず 誰かに相談します	ストレス(不安や悩みなど)に対処できている高齢者の割合	79.4%	〃	81.7%	〃	高問13	増加	A	☆有意 差なし	有り
	睡眠による休養がとれている高齢者の割合	84.5%	〃	80.7%	〃	高問14	増加	C	☆	有り
	不安や悩みを抱えた時の相談先を知っている高齢者の割合	87.1%	〃	85.6%	〃	高問15	増加	D		

※1, 2 聞き方の変更により参考値 ※3 選択肢の変更により参考値

その他資料

1 八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会設置要領

(設置)

第1条 八千代市第2次健康まちづくりプラン(以下「第2次プラン」という。)の推進・評価をするために、「八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会」(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 第2次プランの推進に関すること
- (2) 第2次プランの評価に関すること
- (3) その他必要と認める事項に関すること

(組織)

第3条 委員会は、24名以内の委員をもって組織する。

2 委員会の委員(以下「委員」という。)は、次に掲げるものから市長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) 地域医療を担当する者
- (3) 各種団体の推薦する者
- (4) 市民の代表
- (5) 関係行政機関の職員

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の後任の任期は前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 委員会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、委員会の会務を総理し、委員会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、会長が必要に応じて招集し、その議長となる。

2 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

3 会長は、必要に応じて学識経験者や関係者の出席及び市の関係部署等に関係資料の提出を求めることができる。

（部会）

第7条 第2条に規定する事項を効率的に協議するため、委員会の下に部会を置くことができる。

（庶務）

第8条 委員会の庶務は、健康づくり課において処理する。

（その他）

第9条 この要領に定めるほか、委員会の運営に関して、必要な事項は会長が委員会に諮って定める。

附則

（施行期日）

この要領は、平成25年 4月 1日から施行する。

八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会委員一覧

	氏 名	所 属 団 体 名 等
1	石崎 一記	東京成徳大学 応用心理学部
2	神津 教倫	一般社団法人 八千代市医師会
3	溝口 万里子	一般社団法人 八千代市歯科医師会
4	千葉 恵美子	一般社団法人 八千代市薬剤師会
5	大谷 理恵	一般社団法人 千葉県助産師会 習志野・八千代・鎌ヶ谷地区部会
6	野村 恭子	八千代市母子保健推進員
7	伊藤 満	八千代市民生委員児童委員協議会連合会
8	山田 雅世	NPO法人 子どもネット八千代
9	上ヶ原 明日香	八千代市PTA連絡協議会
10	福田 光宏	八千代商工会議所 青年部
11	嶋 健一	一般社団法人 八千代青年会議所
12	宮崎 真一郎	八千代市農業協同組合 青年部
13	藤田 幸子	社会福祉法人 千葉いのちの電話
	齋藤 浩一 (平成30年11月14日から)	
14	金子 正枝	八千代市スポーツ推進委員協議会
15	新井 陽一	社会福祉法人 八千代市社会福祉協議会
16	寺木 善信	八千代市自治会連合会
17	渡部 正敏	八千代市長寿会連合会
18	犬塚 和子	やちよ元気体操応援隊
19	中村 正人	八千代市ふれあい大学校 OB 連絡協議会
20	久保木 知子	千葉県習志野健康福祉センター
21	齋藤 とし子	市 民 代 表
22	谷村 勝	市 民 代 表
23	吉川 やよい	市 民 代 表
24	小澤 實穂	市 民 代 表

(敬称略・順不同)

2 八千代市第2次健康まちづくりプラン庁内調整会議設置要領

(設置)

第1条 八千代市第2次健康まちづくりプランの推進評価に関し、庁内における調整を図るため八千代市第2次健康まちづくりプラン庁内調整会議（以下「調整会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 調整会議は、次の事務を所掌する。

- (1) 八千代市第2次健康まちづくりプランの推進に関すること。
- (2) 八千代市第2次健康まちづくりプランの評価に関すること。
- (3) その他必要と認める事項に関すること。

(組織・運営)

第3条 調整会議は、別表に掲げる職にある者（以下「調整会議構成員」という。）をもって組織する。

- 2 調整会議は、健康福祉部次長が招集し、会議を主宰する。
- 3 健康福祉部次長に事故があるときは、あらかじめその指名する者が職務を代理する。
- 4 調整会議に、前条各号の調査及び研究を行うため、必要に応じて部会を置くことができる。
- 5 調整会議は、必要に応じて調整会議構成員以外の者に対し、会議への出席及び資料の提供等の協力を求めることができる。
- 6 部会の組織及び運営に関する事項は、調整会議が定める。

(庶務)

第4条 調整会議の庶務は、健康福祉部健康づくり課において処理する。

(その他)

第5条 この要領に定めるほか、調整会議の運営に関し必要な事項は、健康福祉部次長が別に定める。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成19年4月24日から施行する。

附 則

この要領は、平成22年4月23日から施行する。

附 則

この要領は、平成24年6月25日から施行する。

附 則

この要領は、平成24年9月13日から施行する。

附 則

この要領は、平成25年4月 1日から施行する。

附 則

この要領は、平成29年11月21日から施行する。

附 則

この要領は、平成30年4月20日から施行する。

八千代市第2次健康まちづくりプラン庁内調整会議構成員一覧 ※1

	所 属	補職名
1	市長の事務部局	総 合 企 画 課 長
2		戸 籍 住 民 課 長
3		財 務 部
4		債 権 管 理 課 長
5		健 康 福 祉 部 次 長
6		福 祉 総 合 相 談 室 長
7		生 活 支 援 課 長
8		長 寿 支 援 課 長
9		障 害 者 支 援 課 長
10		健 康 づ く り 課 長
11		子 育 て 支 援 課 長
12		子 ど も 保 育 課 長
13		子 ど も 福 祉 課 長
14		母 子 保 健 課 長
15		安 全 環 境 部
16	教育委員会の事務部局	消 費 生 活 セ ン タ ー 所 長
17	消防本部の事務部局	商 工 課 長
		教 育 委 員 会
		指 導 課 長
		消 防 本 部
		警 防 課 長

※1：平成28年4月、自殺対策基本法の改正において市町村に自殺対策計画の策定が義務づけられ、八千代市では八千代市第2次健康まちづくりプラン改訂版に盛り込むこととしました。そこで、自殺対策計画策定に向けた協議を行うため、庁内調整会議構成員を見直し、平成29年11月21日、八千代市第2次健康まちづくりプラン庁内調整会議設置要領の一部改正を行いました。

3 八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例

平成24年6月29日公布

八千代市条例16号

八千代市市民の歯と口腔の健康づくり推進条例

(目的)

第1条 この条例は、市民の歯と口腔^{くう}の健康づくりの推進に関し、基本理念を定め、市の責務等を明らかにするとともに、市の基本的施策を定めることにより、市民の歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策を総合的に推進し、もって市民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

(基本理念)

第2条 市民の歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策は、次に掲げる事項を基本として行われなければならない。

- (1) 市民が、生涯にわたって日常生活において歯科疾患の予防に向けた取組を行うとともに、歯科疾患を早期に発見し、早期に治療を受けることを促進すること。
- (2) 幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔の状態及び歯科疾患の特性に応じて、適切かつ効果的に歯と口腔の健康づくりを推進すること。
- (3) 保健、医療、社会福祉、教育その他の関連施策の有機的な連携を図りつつ、総合的に歯と口腔の健康づくりを推進すること。

(市の責務)

第3条 市は、前条の基本理念にのっとり、国及び千葉県との連携を図りつつ、市民の歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(歯科医師等の責務)

第4条 歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士その他の歯科医療又は歯科保健指導に係る業務に従事する者は、市が市民の歯と口腔の健康づくりの推進に関して実施する施策に協力するよう努めるものとする。

(市民の責務)

第5条 市民は、歯と口腔の健康づくりに関する正しい知識を持ち、生涯にわたって日常生活において自ら歯科疾患の予防に向けた取組を行うとともに、定期的に歯科に係る検診（健康診査及び健康診断を含む。次条第2号において同じ。）を受け、及び必要に応じて歯科保健指導を受けることにより、歯と口腔の健康づくりに努めるものとする。

（市の基本的施策）

第6条 市は、市民の歯と口腔の健康づくりを推進するため、基本的施策として次に掲げる事項を実施するものとする。

- （1） 歯と口腔の健康づくりに関する知識及び歯科疾患の予防に向けた取組に関する普及啓発を行うこと。
- （2） 市民が定期的に歯科に係る検診を受けるとともに必要に応じて歯科保健指導を受けることを促進すること。
- （3） その他市民の歯と口腔の健康づくりのための措置を講ずること。

（計画の策定）



第7条 市長は、市民の歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策を計画的に実施するため、基本的な計画を定めるものとする。

（財政上の措置）

第8条 市は、市民の歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策を実施するために必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。



八千代市第2次健康まちづくりプラン改訂版

発行日 平成31年1月

発行者 八千代市健康福祉部健康づくり課・子ども部母子保健課

住 所 〒276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台2-10（八千代市保健センター）

TEL 健康づくり課 047-483-4646 FAX 047-482-9513

母子保健課 047-486-7250 FAX 同上

八千代市いのち支えるまちづくりプラン

発行日 平成31年1月

発行者 八千代市健康福祉部健康づくり課・障害者支援課

健康づくり課

住 所 〒276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台2-10（八千代市保健センター）

TEL 047-483-4646 FAX 047-482-9513

障害者支援課

住 所 〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田312-5

TEL 047-483-1151（代表） FAX 047-483-2665

